

2011年1月5日

# ゼクシィ 新生活準備調査2010

首都圏、東海、関西での  
新生活準備のためにかかった費用総額の平均は110.1万円で、  
新生活のためのアイテムを既に揃え持っているカップルの増加により  
昨年調査より7.9万円(6.7%)減少した。

結婚情報誌『ゼクシィ』では、新婚カップルの新生活準備状況について詳細に把握するために、「新生活準備調査」を首都圏、東海、関西の3地域で実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

(ゼクシィインテリア 編集長 小林隆子)

## 【主な調査結果】

- P3 ◇新生活準備のためにかかった費用総額の平均は、110.1万円であった。  
◇昨年調査より7.9万円(6.7%)減少している。
- P4 ◇インテリア・家具購入者における購入費用の平均は、48.6万円であった。  
◇昨年調査より0.6万円(1.2%)減少している。  
◇購入率をアイテム別にみると、「カーテン類」が83.7%で最も高く、次いで「収納ボックス」が66.2%、「自分達用の布団」が64.7%で続く。
- P5 ◇家電製品購入者における購入費用の平均は、47.7万円であった。  
◇昨年調査より1.4万円(2.9%)減少している。  
◇購入率をアイテム別にみると、「冷蔵庫」が73.5%で最も高く、次いで「照明器具」が70.9%、「テレビ」が67.8%で続く。
- P6 ◇新居に二人で一緒に住み始めた時期は、「結婚が決まった後から一緒に住み始めた」が71.5%、「結婚が決まる前から一緒に住んでいる」が23.3%であった。  
◇「結婚が決まる前から一緒に住んでいる」は、昨年調査より2.3ポイント増加している。  
◇結婚が決まった後から一緒に住み始めた人の新居の形態は、「新たに賃貸」が73.2%、「新たに購入」が15.2%、「どちらかが以前から住んでいた所に移った」は10.5%となった。  
◇「新たに賃貸」は、昨年調査より3.4ポイント減少している。  
◇「どちらかが以前から住んでいた所に移った」は、昨年調査より3.0ポイント増加している。  
※この様に、新生活のためのアイテムを既に揃え持っているカップルが増加していると考えられ、このことが、新生活準備のためにかかった費用が昨年調査より減少している大きな要因の一つと見ております。
- P7 ◇夫婦のライフスタイルに対する考え方ベスト3は  
1位 「家ではゆっくりくつろいだ生活をしたい」(91.5%)  
2位 「ふたりで過ごす時間をなにより大切にしたい」(62.2%)  
3位 「身の丈にあった暮らしがしたい」(48.7%)
- P8 ◇新生活準備費用に関して親・親族からの援助があった人の援助額は206.1万円であった。  
◇昨年調査より50.4万円(19.6%)減少している。

◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、“結婚情報誌『ゼクシィ』(リクルート発行)調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。

◆ 「新生活準備調査2010」の詳細は、弊社『ブライダル総研』サイト(<http://bridal-souken.net>)より、ダウンロードいただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/support/inquiry\\_press.html](https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html)

### 【調査概要】

【調査方法】 郵送法  
 【調査期間】 2010年5月21日～6月11日  
 【調査対象】 2009年4月～2010年3月に結婚をした首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)、東海(愛知・岐阜・三重)、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)の『ゼクシィ』、『ゼクシィインテリア』読者の中から、地域ごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。  
 調査票発送数: 2,408件 調査票回収数: 1,090件 回収率: 45.3%

【集計サンプル数】  
 計1,015人〔首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉): 376人、東海(愛知・岐阜・三重): 344人、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山): 295人〕

【集計対象】 新生活を始めるにあたってインテリア・家具または家電製品を最低1つでも購入した『ゼクシィ』、『ゼクシィインテリア』読者。  
 【集計方法】 <地域別>「現在の居住地」で集計。  
 <全体集計>各地域の婚姻件数(平成20年厚生労働省人口動態調査)に合わせてウエイトバック集計を行い、首都圏・東海・関西地域それぞれの婚姻件数に応じた全体平均(推計値)を算出(各地域の婚姻件数合計は410,105組)。

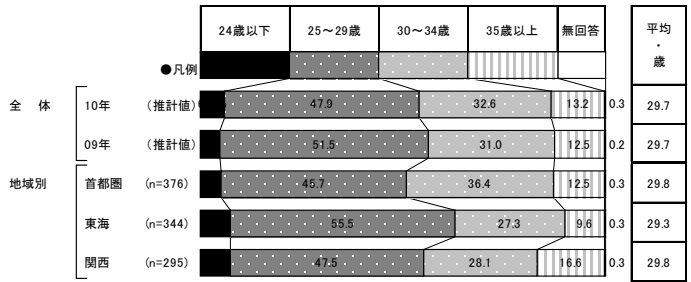
※本文中で使用している09年のデータに関する調査方法、調査対象の範囲は本年と同様、集計サンプル数については下記の通りです。

▼2009年調査 計 881人〔首都圏:312人、東海:263人、関西:306人〕

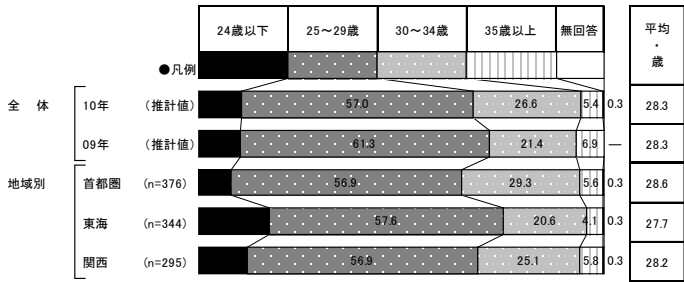
### 【回答者のプロフィール】

#### ■結婚時の年齢(全体/単一回答)

##### 【夫】



##### 【妻】



#### ■結婚前の居住地(全体/単一回答)

##### 【夫】

	(%)				
	全体 (推計値)	首都圏 (n=376)	東海 (n=344)	関西 (n=295)	
首都圏・計	53.2	95.5	0.9	2.4	
東京	23.1	41.2	0.6	1.4	
神奈川	13.8	25.3	—	—	
千葉	7.7	13.6	0.3	0.7	
埼玉	8.6	15.4	—	0.3	
東海・計	16.4	0.3	97.4	0.3	
愛知	11.8	0.3	70.1	—	
岐阜	2.7	—	15.7	0.3	
三重	1.9	—	11.6	—	
関西・計	28.7	2.1	0.6	95.9	
大阪	14.6	0.8	0.3	49.5	
兵庫	6.8	0.5	0.3	22.7	
京都	2.7	0.3	—	8.8	
奈良	2.2	0.3	—	7.1	
滋賀	1.7	0.3	—	5.4	
和歌山	0.7	—	—	2.4	
その他の地域	1.5	1.6	1.2	1.4	
無回答	0.3	0.5	—	—	

##### 【妻】

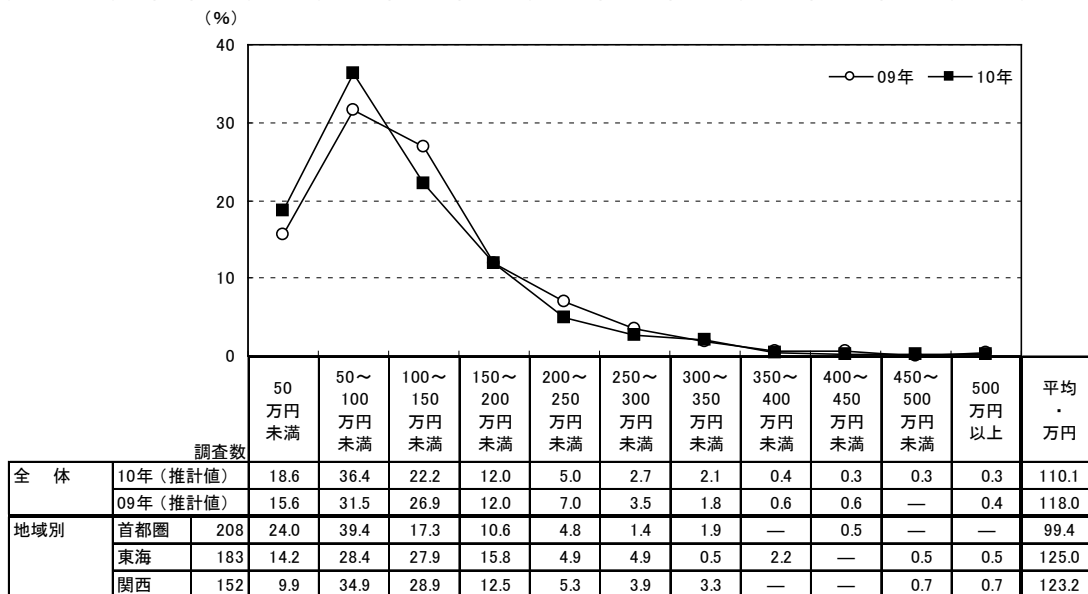
	(%)				
	全体 (推計値)	首都圏 (n=376)	東海 (n=344)	関西 (n=295)	
首都圏・計	50.5	90.4	2.3	2.0	
東京	22.1	39.6	0.9	0.7	
神奈川	13.1	23.4	0.9	0.3	
千葉	7.7	13.6	0.3	0.7	
埼玉	7.7	13.8	0.3	0.3	
東海・計	16.3	1.1	92.7	1.4	
愛知	11.0	0.8	62.5	0.7	
岐阜	3.2	—	18.9	0.3	
三重	2.1	0.3	11.3	0.3	
関西・計	29.1	3.5	2.3	93.9	
大阪	14.5	2.4	0.9	45.4	
兵庫	7.4	0.5	0.3	24.7	
京都	3.4	0.5	—	10.8	
奈良	2.3	—	0.9	7.5	
滋賀	1.1	—	0.3	3.7	
和歌山	0.5	—	—	1.7	
その他の地域	3.6	4.5	2.3	2.7	
無回答	0.3	0.5	0.3	—	

#### ■現在の居住地(全体/単一回答)

	(%)				
	全体 (推計値)	首都圏 (n=376)	東海 (n=344)	関西 (n=295)	
首都圏・計	54.8	100.0	—	—	
東京	21.7	39.6	—	—	
神奈川	14.9	27.1	—	—	
千葉	9.0	16.5	—	—	
埼玉	9.2	16.8	—	—	
東海・計	16.6	—	100.0	—	
愛知	12.2	—	73.5	—	
岐阜	2.6	—	15.4	—	
三重	1.8	—	11.0	—	
関西・計	28.6	—	—	100.0	
大阪	14.4	—	—	50.2	
兵庫	7.2	—	—	25.1	
京都	2.6	—	—	9.2	
奈良	2.1	—	—	7.5	
滋賀	1.5	—	—	5.1	
和歌山	0.9	—	—	3.1	

新生活準備のためにかかった費用総額の平均は、110.1万円で、昨年調査より7.9万円(6.7%)減少した。地域別の平均費用は、首都圏が99.4万円、東海が125.0万円、関西が123.2万円となった。

### ■新生活準備費用の総額(金額回答者のみ)



※具体的な新生活準備内容については下記別表に掲載している

※「家・マンションの購入費用/頭金」は平均金額に大きく影響するため、新生活準備費用からは除外している

### ▼新生活準備のためにかかった費用

		全 体	
		10年 (推計値)	09年 (推計値)
		平均 (万円)	平均 (万円)
新生活準備のためにかかった費用 総額		110.1	118.0
項目別平均額 *1	インテリア・家具の購入総額	48.6	49.2
	家電製品の購入総額	47.7	49.1
	嫁入り道具としての着物の購入総額 *2	96.2	79.8
	嫁入り道具としてのパールの購入総額 *2	21.0	30.5
	賃貸費用/敷金・礼金 *3	27.9	30.4
引越し費用 *4		6.6	7.1

		地域別					
		首都圏		東海		関西	
		10年	09年	10年	09年	10年	09年
		平均 (万円)	平均 (万円)	平均 (万円)	平均 (万円)	平均 (万円)	平均 (万円)
新生活準備のためにかかった費用 総額		99.4	106.0	125.0	129.1	123.2	134.9
項目別平均額 *1	インテリア・家具の購入総額	44.9	42.3	54.3	55.8	53.0	58.1
	家電製品の購入総額	41.0	41.5	52.9	53.3	58.0	59.9
	嫁入り道具としての着物の購入総額 *2	72.0	83.9	82.4	85.6	120.4	71.3
	嫁入り道具としてのパールの購入総額 *2	12.3	26.1	28.5	20.0	24.8	41.4
	賃貸費用/敷金・礼金 *3	28.6	29.4	25.2	28.8	28.2	33.3
引越し費用 *4		6.9	7.2	5.7	8.2	6.0	6.2

注 \*1:「新生活準備のためにかかった費用 総額」の算出時に用いた各項目の平均金額を掲載しているが、これは各項目に費用が発生した人の平均金額であり、各項目の平均金額の合計は、「新生活準備のためにかかった費用 総額」とは一致しない

注 \*2:少ないサンプル数から平均額を算出しているため、参考値としてみる必要がある

注 \*3:「敷金・礼金」は、社宅を除く賃貸住宅居住者ベース

注 \*4:「引越し費用」は、引越し業者を利用した人ベース

### <参考>結婚費用(結納・婚約～新婚旅行までにかかった費用) (万円)

	首都圏	東海	関西
	10年	10年	10年
結納・婚約～新婚旅行までにかかった費用 総額(推計値)	436.5	437.8	398.7

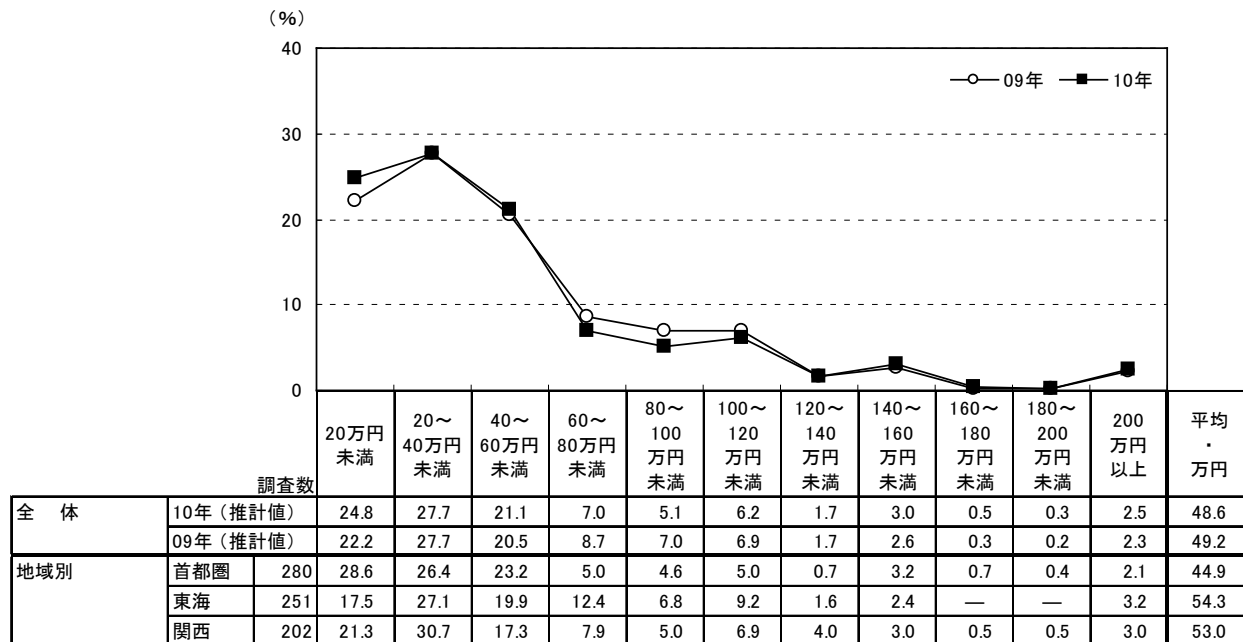
※ゼクシィ「結婚トレンド調査2010」

## インテリア・家具購入費用とアイテム別購入率

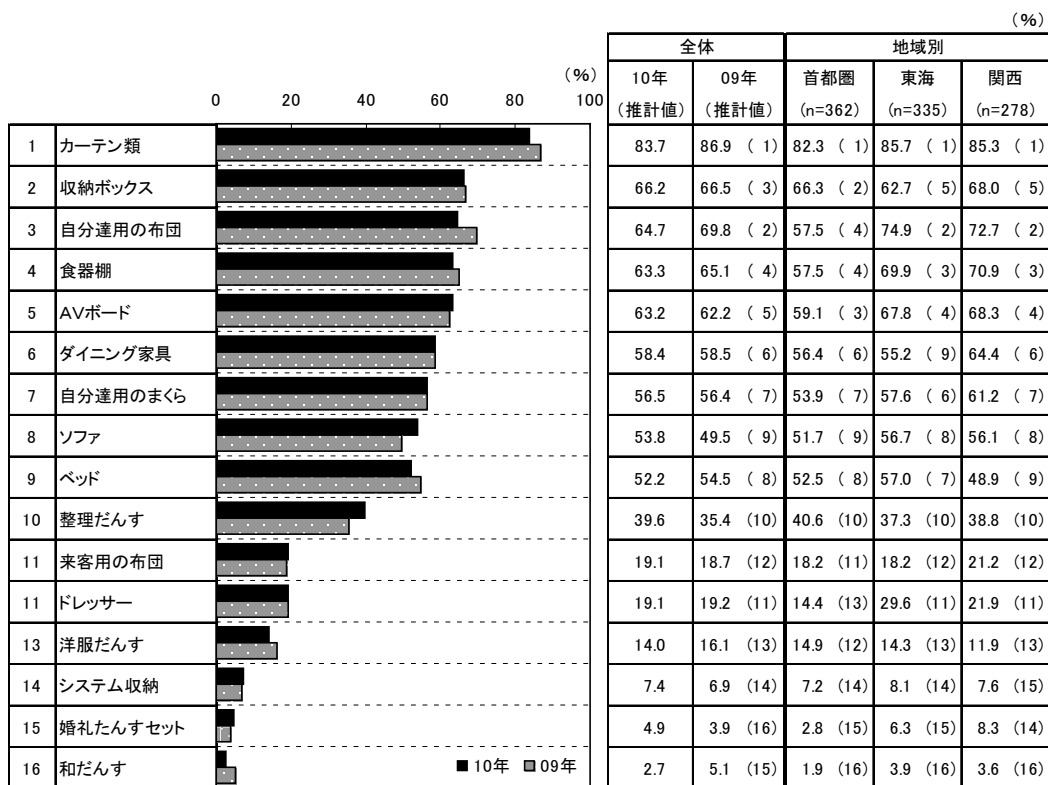
インテリア・家具購入者における購入費用の平均は、48.6万円で、昨年調査より0.6万円(1.2%)減少している。地域別にみると、首都圏が44.9万円、東海が54.3万円、関西が53.0万円となった。

新生活にあたって新たに購入したインテリア・家具の購入率をアイテム別にみると、「カーテン類」が83.7%で最も高く、次いで「収納ボックス」(66.2%)、「自分達用の布団」(64.7%)、「食器棚」(63.3%)、「AVボード」(63.2%)がそれぞれ60%台で続く。

■インテリア・家具の購入にかかった費用(インテリア・家具購入者のうち、金額回答者のみ/単一回答)



■インテリア・家具のアイテム別購入率(インテリア・家具購入者/それぞれ単一回答)



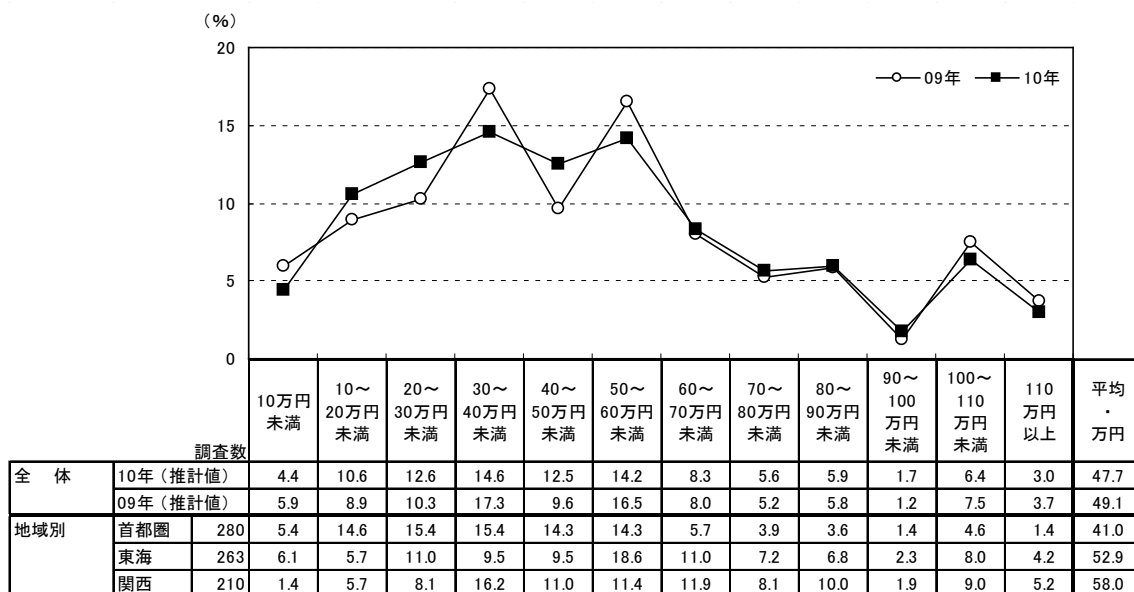
※表中の( )内の数値はそれぞれの順位を示す

家電製品購入者における購入費用の平均は、47.7万円で、昨年調査より1.4万円(2.9%)減少している。地域別にみると、首都圏が41.0万円、東海が52.9万円、関西が58.0万円となった。

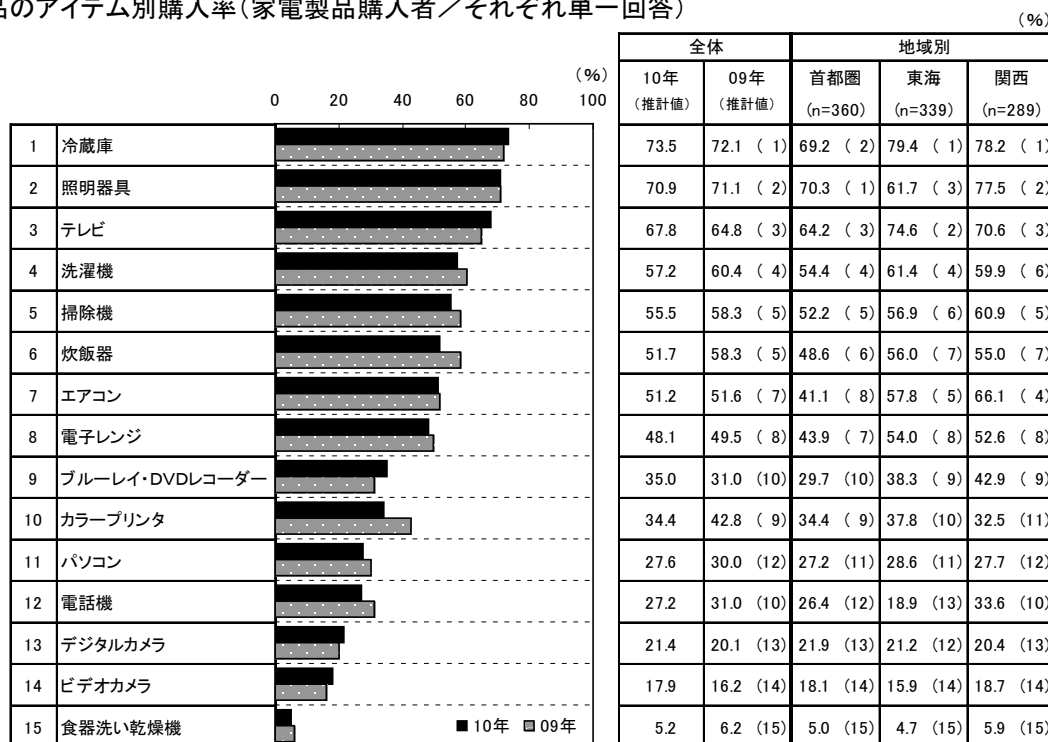
新生活にあたって新たに購入した家電製品の購入率をアイテム別にみると、「冷蔵庫」が73.5%で最も高く、次いで「照明器具」が70.9%、「テレビ」が67.8%で続く。

家電製品の購入率についてアイテム別に15品目を調査したところ、昨年調査より減少している品目が多い中、「冷蔵庫(1位)」、「テレビ(3位)」、「エアコン(7位)」の「家電エコポイント制度」対象品では、昨年調査よりアップまたは同程度の結果となっております。つまり、同制度が新婚生活スタート時の購買にも影響を与えていると見ております。

### ■家電製品の購入にかかった費用(家電製品購入者のうち、金額回答者のみ/単一回答)



### ■家電製品のアイテム別購入率(家電製品購入者/それぞれ単一回答)



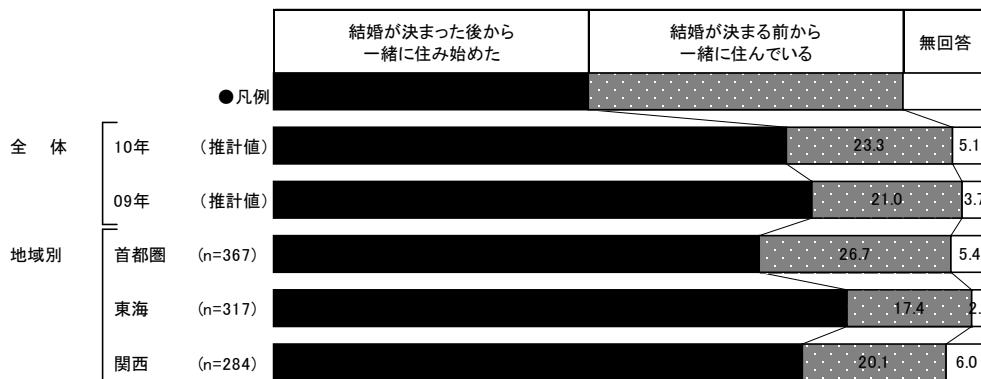
※表中の( )内の数値はそれぞれの順位を示す

新居に二人で一緒に住み始めた時期は、「結婚が決まった後から一緒に住み始めた」が71.5%（昨年調査より3.8ポイント減少）、「結婚が決まる前から一緒に住んでいる」が23.3%（同2.3ポイント増加）であった。

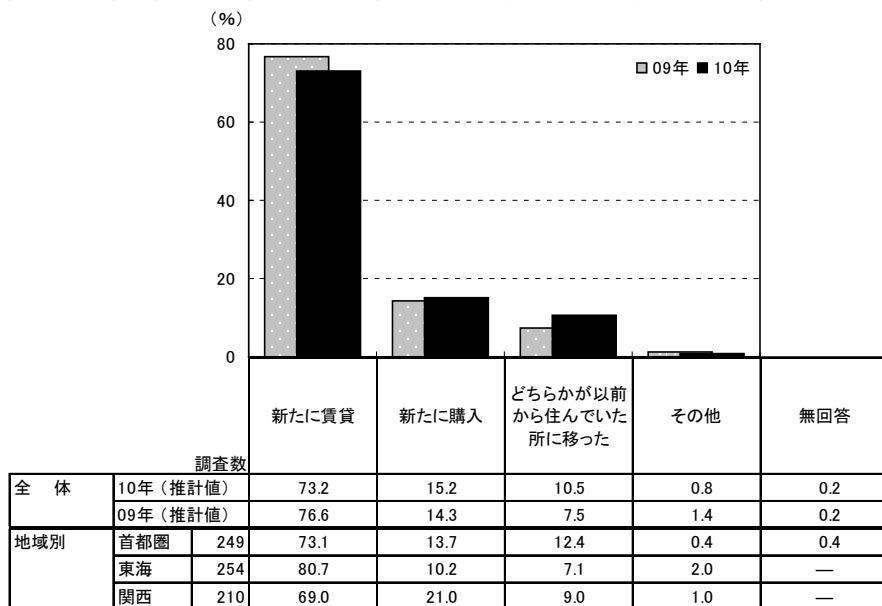
結婚が決まった後から一緒に住み始めた人の新居の形態は、「新たに賃貸」が73.2%（昨年調査より3.4ポイント減少）、「新たに購入」が15.2%（昨年調査と同程度）、「どちらかが以前から住んでいた所に移った」は10.5%（同3.0ポイント増加）となった。

新居に一緒に住み始めた時期では、「結婚が決まる前から一緒に住んでいる」が昨年調査より2.3ポイント増加しており、また、結婚が決まった後から一緒に住み始めた人の新居の形態では、「どちらかが以前から住んでいた所に移った」が同3.0ポイント増加しております。つまり、新生活のためのアイテムを既に揃え持っているカップルが増加していると考えられ、このことが、新生活準備のためにかかった費用が、昨年調査より減少している大きな要因の一つと見えております。

■新居に二人で一緒に住み始めた時期（＜結婚後＞親と別居している人／単一回答）



■新居の形態（親と別居している人のうち、結婚が決まった後から一緒に住み始めた人／単一回答）

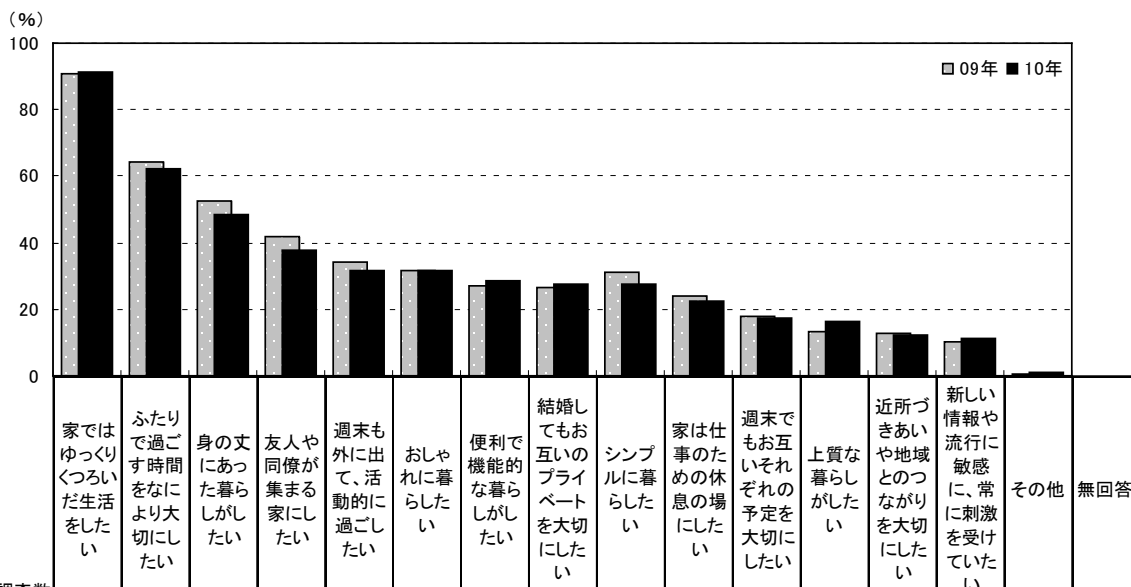


※「新たに賃貸」:「一戸建てを借りた」「マンションを借りた」「アパートを借りた」「公団住宅等を借りた」「社宅を借りた」のいずれかを回答した人を集計  
 ※「新たに購入」:「新しく一戸建てを購入・新築した」「新しくマンションを購入した」のいずれかを回答した人を集計

夫婦のライフスタイルに対する考え方ベスト3は、1位「家ではゆっくりくつろいだ生活をしたい」(91.5%)、2位「ふたりで過ごす時間をなにより大切にしたい」(62.2%)、3位「身の丈にあった暮らしがしたい」(48.7%)となった。

夫婦のライフスタイルに対する考え方では、昨年調査と同様に、「ゆっくりくつろいだ生活」「ふたりで過ごす時間」「身の丈にあった暮らし」など、精神的な充足感を求める項目が高く出ており、つまり、新婚生活スタート時のライフスタイルに対する希望が「家や家庭での安心」である傾向が見て取れます。

■夫婦のライフスタイルに対する考え方(全体/複数回答)



調査数	%																	
	10年(推計値)	91.5	62.2	48.7	38.0	31.6	31.4	28.5	27.8	27.7	22.5	17.1	16.2	12.2	11.1	0.8	0.3	
全体	10年(推計値)	91.5	62.2	48.7	38.0	31.6	31.4	28.5	27.8	27.7	22.5	17.1	16.2	12.2	11.1	0.8	0.3	
地域別	首都圏	376	92.6	67.6	48.9	37.5	31.6	32.2	30.1	27.7	29.5	23.1	17.8	18.9	12.0	11.4	0.8	0.5
	東海	344	89.8	59.0	45.6	34.9	32.8	29.1	27.9	27.3	25.9	21.2	15.7	12.8	13.7	10.2	0.3	0.3
	関西	295	90.5	53.9	50.2	40.7	30.8	31.2	25.8	28.5	25.4	22.0	16.6	12.9	11.9	10.8	1.0	—
妻の年齢別(推計値)	24歳以下		90.0	62.3	45.9	33.6	30.4	37.3	28.6	23.2	18.2	18.2	12.7	16.4	19.1	13.2	1.4	0.5
	25~29歳		91.2	62.6	47.8	40.9	33.2	32.9	28.2	27.9	23.9	22.5	18.6	15.7	11.4	12.1	0.9	0.5
	30~34歳		94.0	60.5	51.0	35.0	29.7	26.8	28.2	29.3	35.9	23.3	16.4	15.9	9.7	8.2	—	—
	35歳以上		84.7	68.5	53.2	32.4	28.8	27.0	27.9	28.8	45.9	27.0	11.7	22.5	20.7	8.1	1.8	—

インテリア・家具、家電製品費用としての親・親族からの援助が「あった」人は59.0%であった。

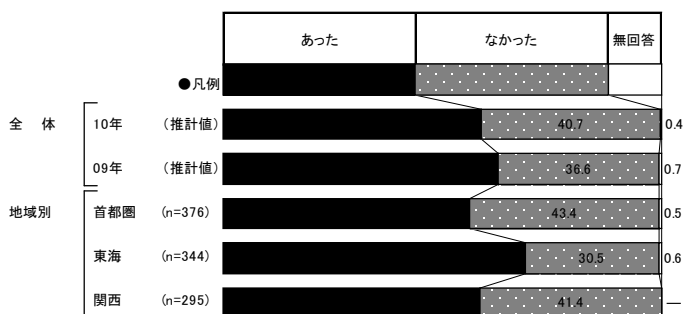
新居の購入・賃貸費用としての親・親族からの援助が「あった」人は19.0%であった。

新生活準備費用に関して、親・親族からの援助があった人の援助額の平均は206.1万円で、昨年調査より50.4万円(19.6%)減少した。

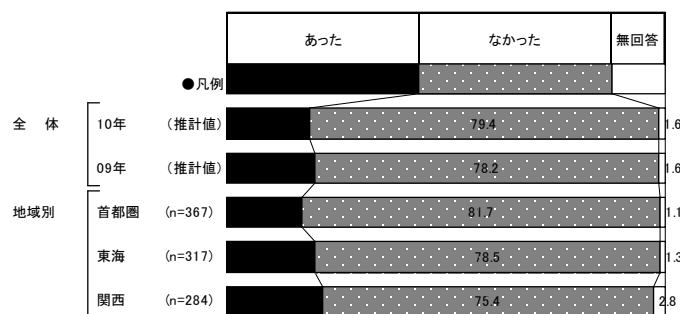
地域別の援助額は、首都圏が207.4万円、東海が199.8万円、関西が207.6万円となった。

親・親族からの援助があった人の援助額が昨年調査より大きく減少した要因としては、「1000万円以上」の金額帯の減少が影響を与えたと見ております。

■インテリア・家具、家電製品費用としての親・親族からの援助有無(全体/単一回答)



■新居の購入・賃貸費用としての親・親族からの援助有無(親と別居している人/単一回答)



■新生活準備費用(インテリア・家具、家電製品、新居の購入・賃貸費用)の親・親族からの援助額(新生活準備費用の親・親族からの援助があった人のうち、金額回答者のみ/単一回答)

